

加茂川中学校だより2020

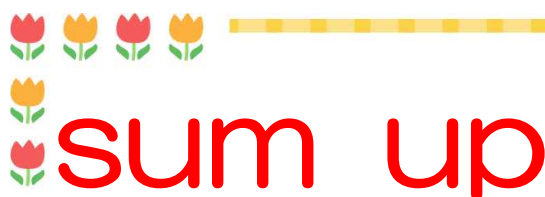


京都市立加茂川中学校
令和3年3月1日(月)

第12号

3月号

文責：校長 山下 道夫



～さあ、1年を

総括する時です!!～

今年度も残すところあと1ヶ月。1年間の総括をするときが来ました。振り返れば、コロナウイルス感染症のため、2ヶ月間の臨時休校を余儀なくされて、みんなが登校できるようになったのは、6月から。この9ヶ月間の学校生活はどうでしたか？

学習面についても週の半分以上が7時間授

業で部活動についても多くの制限がついた中での活動。何もかもが思うように進まなかった1年間であったと思います。しかし、そんな中でしっかりと得られたことも多くあったと思います。1年の終わりに何ができるようになって、次になんていのかをしっかりと振り返り、その上でしっかりと目標を設定し、新しい年のスタートがきれいに準備しましょう。

さて、3月3日は、上巳（じょうし）の節句。桃の節句やひな祭りと言う方がなじみがあるかもしれませんが。そもそもは、古代中国の風習で、1・3・5・7・9の奇数が重なる日に、お供えやお祓いをする風習があったそうです。日本でもその風習が残っていて、3月3日の上巳、5月5日の端午、7月7日の七夕などがそれにあたります。

上巳の節句は、3月の最初の巳（み）の日を指し、古代中国ではこの日を悪日として川辺に出て不浄を除くため水で祓（はらい）を行うという風習がありました。

上巳の日を忌むべき日とされた始まりは、漢の時代の「徐肇」という人に女の三つ子が生まれましたが、三日後に三人とも死亡してしまいました。人々はこれはきっと何かのたたりだと、水浴をして忌み汚れを流し禊（みそぎ）をおこないました。この日がちょうど初の巳の日であったのだそうです。これが上巳の祓（はらい）の行事が生まれた始まりとされています。それが平安時代に日本に伝わるのですが、日本にも古来より、人形に不浄を託して川や海に流して、災厄を祓うという風習がありましたので、草木、紙や藁で作った素朴な人形に自分の厄災を移し、海や川に流してお祓いをする「流し雛」の習慣となったと言われています。

桃の節供と呼ばれるのは、その季節のものというのも理由のひとつでしょうが、桃には邪気を払うという魔除けの信仰があったからだそうです。



年度末・年度初めの予定について

今年度、お世話になった先生方の異動につきましては、春季休業期間の3月下旬にHPにて発表します。離任式に関しましては、3月30日（火）に実施する方向で調整しておりますが、コロナウイルス感染症の関係で詳細がまだ決まっておりません。卒業式までには決定し、改めてお知らせします。

また、新年度始業式は、4月6日（火）、入学式は、4月7日（水）となっております。

旅立つ3年生の皆さん

3年生は、あと2週間で義務教育課程を終えて、加茂川中学校を卒業することになります。

皆さんにとっての中学校生活は、どのような3年間でしたか？

今振り返ると平成から令和に元号が変わったり毎年のように地震・豪雨・台風の甚大な被害が出たり、身近な生活面では、消費税が10%になったり、そして昨年度末からのコロナウイルス感染症のため、休校措置が2ヶ月を超える期間続き、そのため、授業は7時間が基本となり、学校行事もかなり縮小されました。皆さんが中学生として過ごした期間は、全国的にも、そして、学校としても激動の3年間であったように思います。そんな中でも日々の学校生活を大切に、精一杯頑張ってきた3年生の姿は、1・2年生や教職員はもちろんのこと地域や家庭の皆様にもしっかりと焼き付いていると思います。皆さんが、ここ加茂川中学校で学んだこと、経験したことは、必ずこれからの人生に役立つものです。自信を持って新たな扉を開いてください。皆さんの活躍を心より期待しております。



3月の主な予定

- ・3月5日（金）
3年生公立中期選抜前日指導
- ・3月8日（月）
公立高校中期選抜
- ・3月11日（木）
3年生を送る会
- ・3月12日（金）
卒業式準備
- ・3月15日（月）
卒業証書授与式
- ・3月19日（金）
修了式

*春季休業期間：3月20日～4月5日

